

# NEURO 2024

3学会合同大会

第47回 日本神経科学大会 第67回 日本神経化学会大会 第46回 日本生物学的精神医学会年会

## 市民公開企画

第1部 市民公開講座

第2部 脳科学の達人2024

2024年

7月27日土 [2部構成]  
13:00-16:15 (開場12:30)

会場 福岡国際会議場 メインホール  
福岡市博多区石城町2-1

対象 高校生・大学生及び一般の方

参加  
方法

現地参加をご希望の方

事前申込は必要ありません。  
当日、会場へお越しください。

オンライン視聴をご希望の方

第2部はZoomおよび  
YouTubeでの視聴が可能です

第1部 13:00-14:30

市民公開講座

精神・神経疾患の  
現在地

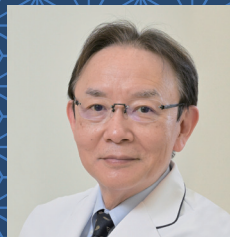
プレゼンター



増田 隆博  
九州大学

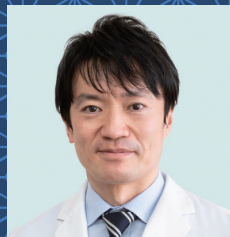


富田 泰輔  
東京大学



尾崎 紀夫  
名古屋大学

司会



山末 英典  
浜松医科大学

第2部 14:45-16:15

脳科学の達人2024

明日のあなたが創る  
脳科学

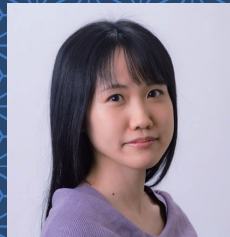
プレゼンター



竹岡 彩  
理化学研究所  
脳神経科学研究センター

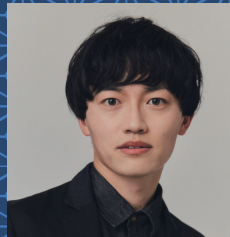


鈴木 邦道  
英国MRC分子生物学  
研究所/BioNTech UK/  
慶應義塾大学WPI-Bio2Q



日永田 智絵  
奈良先端科学技術  
大学院大学

ファシリテーター



佐伯 恵太  
俳優・  
サイエンスコミュニケーター

スペシャルサポーター

Dr. DJ ATSUKO



このイベントは、科学研究費助成事業(科学研究費補助金)のうち、研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)(課題番号24HP0017)」の交付を受けて運営されています。

科研費  
KAKENHI

主催: NEURO2024

## 第1部 13:00-14:30 市民公開講座 精神・神経疾患の現在地

2020年の厚生労働省の調査によると、うつ病や統合失調症などを含む精神障害の患者数は600万人を超え、約10年前と比べてほぼ倍増しています。精神障害では、症状自体の辛さに加えて症状が理解されにくいことによる二重の辛さが生じることが少なくありません。

本市民公開講座では、神経化学会、神経科学学会、生物学的精神医学会からそれぞれ推薦を受けた3人の研究者が、認知症や精神疾患の脳内メカニズム解明や治療薬開発について、市民の皆様向けに講演します。最先端の研究について、難しい内容なのではないかと感じるかもしれませんが、

医学研究の目指すところは、現在の医学では分からないことを分かるようにすること、治せないものを治せるようにすることに尽きます。つまり、最先端の脳研究も、疾患に悩まされているご本人やご家族あるいは周囲の方々の困っていることが解消されるようになることを最終的には目指しています。したがってこの市民公開講座は、市民の皆さまにとって最先端の研究について知る貴重な機会となるのと同時に、講師や主催する私たち研究者にとっても、研究の成果や目指すところが市民の方々へのように受け止められるかを知ることの出来る貴重な場となります。

### プレゼンター

#### 脳内のごみ処理システム： ごみが溜まりすぎると免疫細胞は怒りだす？



#### 増田 隆博

ますだ たかひろ

九州大学生体防御医学研究所分子  
神経免疫学分野 教授  
日本神経化学会より推薦

#### プロフィール

2006年に九州大学薬学部を卒業し、大学院に進学後2011年に九州大学大学院薬学府にて学位取得・博士(薬学)を取得しました。その後、九州大学大学院薬学研究院 学術研究員、同 特任助教を経て、同薬学研究院ライフイノベーション分野助教に着任しました。2015年からはドイツ・フライブルク大学に日本学術振興会海外特別研究員として留学し、2017年からは同大学院博士研究員として脳内免疫細胞の研究に従事しました。2020年に帰国し、九州大学大学院薬学研究院助教に着任し、その後2021年より同准教授を務めました。

2023年より現職の九州大学生体防御医学研究所・分子神経免疫学分野教授として、脳内免疫システムの成り立ちや疾患発症における役割の解明に向けた研究に従事しています。

#### 認知症の撲滅に向けた創薬研究



#### 富田 泰輔

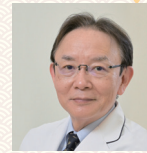
とみた たいすけ

東京大学大学院薬学系研究科  
機能病態学教室 教授  
日本神経科学学会より推薦

#### プロフィール

1991年に東京大学に入学し、学部生の頃から一貫してアルツハイマー病や認知症の研究に携わってきました。特に最近承認されたアルツハイマー病治療薬レカネマブの標的分子でもある、アミロイドβタンパク質の研究を中心に、なぜ脳の中に異常なタンパク質が溜まって認知症になるのか、その予防や治療、診断のためにはどのようなアプローチがあるのか、について研究を続けています。米国留学中には病気の研究から離れ、どのように神経細胞が生み出されるのか?という基礎生物学的な研究を行いました。そのときに認知症の研究を別の角度から見た経験から、「疾患の基礎研究と新しい基礎生物学は同じ」であることに気づき、その観点から大学院生、スタッフたちと認知症の基礎研究と創薬研究を進めています。

#### 精神疾患のゲノム解析からメカニズム解明・ 創薬:当事者・家族の想いを踏まえて



#### 尾崎 紀夫

おさきのりお

名古屋大学大学院医学系研究科精神  
疾患病態明学 特任教授  
日本生物学的精神医学会より推薦

#### プロフィール

私は1957年に京都で生まれ、人の「心」に興味を持って医学部に進みました。臨床、教育、研究に関わってきましたが、いずれも自分の関心と一致していることは有り難いことです。研究では、「精神科臨床で生じる日々の疑問の解決」と「精神疾患のメカニズム解明と、それに基づく診断、治療・予防法の開発」を目指しています。自閉スペクトラム症、統合失調症、双極症、うつ病、認知症、摂食障害など、様々な精神疾患の診断・治療法やメカニズムを、多角的に研究しています。精神疾患の当事者やその御家族から研究に対する期待を伺ったところ、「精神疾患のメカニズム解明」と「新たな治療薬の開発」が最も多い御意見でした。また2023年から「ゲノム医療推進法」が施行されています。精神疾患のゲノム解析からメカニズムの解明とそれに基づく治療薬の開発を進めています。今回はその一端についてお話しさせて頂く予定です。

## 第2部 14:45-16:15 脳科学の達人2024 明日のあなたが創る脳科学

### 最先端の脳研究を、驚きのわかりやすさ、 面白さであなたに!

2015年に始まって以来、大好評の「脳科学の達人」シリーズ。第10回となる本年は、生きた神経回路や人工知能から学習や感情の構築に挑む3名の研究者が登場し、それぞれの研究のリアルな面白さを語ります!最新の脳科学をお楽しみください。YouTubeの「脳科学の達人」チャンネルでは過去の講演も公開中ですので、ぜひご覧ください。

### ファシリテーター



#### 佐伯 恵太

さえき けいた

俳優・サイエンスコミュニケーター

京都大学大学院理学研究科で修士号を取得し、日本学術振興会特別研究員(DC1)として同大学院博士後期課程に進学。1年間の研究活動の後、俳優に転身した異色の経歴の持ち主。現在は、科学とエンターテインメントの架け橋になるべく、俳優・サイエンスコミュニケーターとして活動中。

#### 【出演ドラマ】

BS時代劇「大富豪同心」シリーズ/「ABEMAヒルズ」コメンテーター/日本科学振興協会(JAAS)正会員/「エンタメ×科学」のプロ集団「asym-line(アスムライン)」代表。プロデューサー・監督・出演者として、YouTube科学番組「らぶらぽきゅ〜※」を手がけている。※「東京応化科学技術振興財団」助成事業

### プレゼンター

#### 脳に頼らない学習と記憶



#### 竹岡 彩

たけおか あや

理化学研究所  
脳神経科学研究センター

2010年カリフォルニア大学ロサンゼルス校博士号取得。スイスのパーセル大学で博士研究員を経て、ベルギーのフランダースバイオテクノロジー研究所で研究室を主宰し、2024年より理研脳科学研究センターでチームリーダー着任。遺伝子操作、細胞活動操作、電気生理学をはじめとした神経回路解析のアプローチを用いて、運動回路の可塑性の解明を目指している。

#### 神経回路のハサミと接着剤



#### 鈴木 邦道

すずき くにみち

英国MRC分子生物学研究所/  
BioNTech UK/  
慶應義塾大学WPI-Bio2Q

2013年 東京大学薬学系研究科博士課程修了 博士(薬学)、慶應義塾大学医学部にて博士研究員、2019年にMRC-LMBIに研究員として留学、2023年よりBioNTech UK(兼任)、2024年より慶應義塾大学 ヒト生物学・微生物叢・量子計算研究センター(WPI-Bio2Q) Jr. PI(兼任)。中枢神経系や多臓器の連関を、分子の構造から、シグナル経路、ネットワーク、個体の行動までを統合的に研究することで、「こころの仕組み」や「健康に関わるヒトの体内機構」への理解を深めることを目指しています。

#### 感情のレシピ ~感情を持つロボットへの挑戦~



#### 日永田 智絵

ひえいた ちえ

奈良先端科学技術大学院大学  
数理情報学研究室

2019年に電気通信大学にて博士(工学)取得。現在、奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科情報科学領域、助教。研究分野は感情発達ロボティクス。感情を持つパートナーのようなロボットの開発を目指すとともに、感情のメカニズムを明らかにしたいと考えている。書籍「AIは人を好きになる?」(太郎次郎社エディタス)を監修。NHK Eテレ「思考ガチャ」に出演。

### スペシャルサポーター

Dr. DJ ATSUKO



このイベントは、科学研究費助成事業(科学研究費補助金)のうち、研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)(課題番号24HP0017)」の交付を受けて運営されています。

科研費  
KAKENHI